

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①次期新学習指導要領の改訂に向けたカリキュラムの研究・編成に取り組む。 ②生徒の主体的に学ぶ意欲を引き出すとともに確かな学力を育む。	②アクティブ・ラーニングの視点に基づき、生徒が主体的に学ぶ授業研究に取り組む。	②「授業改善プロジェクトチーム」を中心として、アクティブ・ラーニングの視点に基づき、生徒が主体的に学ぶ授業研究をさらに進める。また、職員研修会等を通じて研究成果を共有する。	②夏期講習や通年補習への参加率、および生徒による授業評価において、生徒の主体的な取組に関する項目について「かなり当てはまる」の回答率が前年度より向上したか。					
2 生徒指導・支援	①生徒会行事や委員会活動等の活性化を通して生徒の主体性を育む。 ②生徒個々に応じた組織的な支援体制を確立させるとともに充実させる。	①生徒会行事、部活動、委員会活動等について、生徒会本部役員の生徒を通じて活性化させる。 ②欠席しがちな生徒や気になる生徒の状況や課題を把握し、その解決に向けて組織的に支援する。	①生徒会本部役員の生徒により委員会や部活動の活動報告会を定期的に開催し、活発な活動を呼びかける。行事や委員会活動、部活動に主体的に参加したかアンケートを実施する。活動実績を生徒役員にまとめさせ生徒会新聞や学校説明会等で報告させる。 ②担任が把握した生徒に関する情報を学年会やグループ会議で共有し、必要に応じてカウンセラーを活用するとともにケース会議を開く等生徒に有効な支援を行う。	①生徒会は活動報告会を開催できたか。アンケート結果は前年度より改善したか。生徒会は各活動を集約し生徒会新聞や学校説明会で報告できたか。 ②支援が必要な生徒の情報が関係者で共有できたか。また、カウンセラーの活用やケース会議が有効に生かされ、問題解決につながったか。					
3 進路指導・支援	3年間を通じた体系的なキャリア教育を通して、進路意識の向上を図り、主体的に学ぶ意欲、豊かな人間性および社会性を育み、自己実現を支援する。	キャリア教育を通して、生徒一人ひとりが、自己理解を深め、将来を見据えて、高い目標を持つよう進路意識の向上を図る。	キャリア学習の時間を計画的に企画し、生徒の意識を向上させるよう努め、面談や進路通信、各説明会等を通して進路に関する情報提供を積極的に行う。また、第1志望の進路実現に向けてきめ細かい進路相談を行う。	生徒の進路意識の向上を図るためにキャリア学習が計画的に行われたか。また、生徒や保護者に進路情報の提供が積極的に行われたか。					

4	地域等との協働	地域と連携し、地域から信頼され、地域に開かれた学校づくりに取り組む。また、地域貢献等を通して、生徒の自己肯定感、自己有用感を高める。	①王子地区自治会と協働し、防災体制の確立と改善に努める。 ②近隣の自治会、地域の公民館等との交流・連携を深め、生徒が地域に貢献する機会を増やす。	①生徒の防災委員を中心に王子地区防災訓練（避難所開設訓練）に積極的に参加し、避難所開設の体制を整える。 ②地域で行われる行事、ボランティア活動等の情報を生徒が主体的に入手するよう促す。	①地区防災訓練に積極的に参加できたか。また、避難所開設の体制づくりができたか。 ②地域の行事等に参加することで、地域住民との連携や交流、及び貢献ができたか。（参加数調査及びアンケートを実施）					
5	学校管理 学校運営	生徒が安全・安心に、また快適に過ごせるよう教育環境の整備を進める。	施設・設備の老朽箇所、危険箇所の状況を把握し、その改善に努める。	生徒の整美委員と協働し、施設・設備の老朽箇所、危険箇所のデータベースを作成し、生徒の意見を取り入れながら最適な教育環境づくりを進める。	データベースを作成し、施設の改善及び、教育環境の整備ができたか。					